

予 算 要 求 資 料

令和2年度9月補正予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名 外食インバウンド回復緊急支援事業費補助金(国補)(単補)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 輸出戦略係 電話番号：058-272-1111 (内 2896)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 79,301 千円 (現計予算額：105,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	105,000	105,000	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	79,301	77,130	0	0	0	0	0	0	2,171
決定額	79,301	77,130	0	0	0	0	0	0	2,171

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う国の経済対策として、外食産業のインバウンド需要回復に資する店舗改修などへの新たな支援策が打ち出されたことから、これらの取組みを進める。
- ・訪日外国人への岐阜の食の魅力発信は、飛騨牛をはじめとした県産農産物の輸出拡大につながるものであり、インバウンド需要回復は喫緊の課題である。
- ・今般、国において事業の2次募集が行われることとなったことから、必要経費の増額補正を行う。

(2) 事業内容

- ・インバウンド需要回復に向けた衛生管理の徹底・改善に必要となる空気換気設備の導入や店舗改修等

[補助対象者] 外食事業者

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫補助（1/2 以内）

※ 1 次地区に対しては、新型コロナに関する緊急事態宣言下での事業募集であり、県つぎたしを行ったが、2 次地区には、同宣言は発令されておらず、県つぎたしは行わない。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	79,301	事業実施予定：10 件
合計	79,301	

決定額の考え方

一般財源については県有施設整備・新型コロナウイルス感染症対策基金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略（H31 年 3 月策定）
3（1）④ 「ぎふブランド」づくり（情報発信・販路拡大）
- ・ぎふ農業・農村基本計画（H28 年 4 月策定）
2 売れるブランドづくり （4）県産農畜産物のグローバル展開

(2) 国・他県の状況

国が新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策として、令和 2 年度の第 1 次補正予算に約 10 億円を措置。

都道府県を通じて、対象者へ補助金を交付する事業スキームであることから、各都道府県が担当窓口を設置。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策のため、財政負担はなし。

事業評価調査書（県単独補助金を除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 外食産業におけるインバウンド需要回復を図ることで、飛騨牛を始めとした県産農産物の輸出拡大につなげる。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				<small>（前々年度末時点）</small>		
飛騨牛の年間輸出量 (kg)	330 (H20)	1,071 (H22)	16,062 (H26)	59,159 (H30)	30,000 (R2)	% 197.2

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
(評価) ○	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた外食事業者への支援は、経済再生を図る観点からも必要性が高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 国の緊急対策を活用し、機を逸することなく、インバウンド需要を回復させることが課題である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 国の緊急対策のため、単年度限りの実施。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	